寒くなってきましたね、2025年もあとわずか。1年って早い・・いつもそんな気持ちで12月を迎えます。初夏には早川千絵監督の「ルノワール」、真夏には石川慶監督「遠い山なみの光」、そして初秋から三宅唱監督の「旅と日々」を上映中。場内からはクスッとした小さな笑いがところどころから、それが広がってまさしくこの映画の世界そのものに。特別じゃない旅が、地続きの日常をちょっとだけ変える。そんな“ちょっとだけ”癒されるような心地よさが読後感のように残り、少しだけの元気と幸せを鞄に詰めて持ち帰る、なんだか素敵ですね。今年は私たちが応援している監督たちが一斉に新作を発表、どの作品にも女性たちがこの世界を生きてゆく葛藤やつながり、時間を経て手繰り寄せる未来が描かれています。その上アイスランドからは「女性の休日」がやってきて、皆さんを虜にしています。50年前の1975年10月24日アイスランド全女性の90%が仕事も家事も「休んだ」という事件（？）。すると学校も病院も銀行も、レストランもみんなみんな休業になって世界を変えたという運命の１日。「これは私たちの映画よ」と見終わったみなさんは元気もりもり。全国のミニシアターで大ヒット中、キノでも頑張っています。

新春にはカラックスの「ポンヌフの恋人」やD・リンチ「ストレイトストーリー」、大女優が挑む最期の舞台「喝采」、民族や宗教、性差など様々な境界を乗り越えて希望をつないでゆく感動作「Crossing　心の交差点」。そして早川千絵監督、プロデューサーをお招きして初期作品から現在までの「早川千絵映画祭」など。今年のキノは分かり合おうと歩み寄ることの大切さを映画から学んでいるように思います。
それでは2026年もみなさまとともに、心穏やかに過ごせますように。

シアターキノ　支配人　中島ひろみ

……

2025年の映画たちはいかがでしたか？

2025年ベスト10募集

2025年も、素晴らしい作品との出会いが数多くありましたね。
1年を振り返って、恒例のキノベスト10を、お客様の皆様にもご参加いただき、決めたいと思います。下記の要項を確認して、ご応募下さい。

★2025年1月1日～12月31日まで札幌で封切られた作品から、日本映画・外国映画それぞれベスト5本を選んで記入して下さい。映画館以外での自主上映なども対象になりますが、過去の封切り作品は対象外です。

★ご応募いただきました方の中から抽選で5名様に、シアターキノの招待券をプレゼントいたします。当選発表は、賞品の発送にて代えさせていただきます。

QRコードからもご応募可能です

お名前

当選した時の招待券の送り先　〒

シアターキノ　狸小路6丁目 南3条グランドビル2F　☎011-231-9355　http://theaterkino.net

★ご応募の締め切りは**1月12日（月）**
【FAX　011-231-9356】・郵送・HP 2025ベスト10のインターネット投票または、直接キノへお持ちいただいても結構です。
ベスト10の発表は1月24日（土）頃キノに掲示する予定です。

	日本映画	外国映画
1位		
2位		
3位		
4位		
5位		

感　想